

静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会の評価結果

令和4年7月

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課

- 1 指定管理者名:社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
- 2 指定期間:平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
- 3 開催日:令和4年7月22日(金)
- 4 議事内容:令和3年度の会館運営の評価について

5 評価委員会委員(☆:委員長)

氏名	職名
青野全宏	静岡県車椅子友の会 会長
小澤美穂子	静岡商工会議所 清水事務所 中小企業相談所 清水支所長
川島貴美江	静岡英和学院大学 人間社会学部 コミュニティ福祉学科 特任教授
☆ 東野定律	静岡県立大学 経営情報学部 教授
松下好宏	静岡県建築士会 副会長
浦田卓靖	静岡県健康福祉部福祉長寿局長

6 評価の流れ

- (1) 指定管理者による「評価シート」の提出と自己評価
 - ・指定管理者は、指定管理業務の実績について、「評価シート」の作成及び自己評価を実施する。
- (2) 静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会による評価
 - ・指定管理者が作成した「評価シート」及び自己評価をもとに、ヒアリング等を実施する。
 - ・各委員により評価事項ごとに採点を行う。
 - ・各委員採点の合計得点により、各評価事項及び全体の評価を5段階で評価し、公表へつなげる。

7 評価の基準

(1)評価項目

評価項目	評価事項
有料会議室の利用状況	会議室利用実績
	会議室利用向上への取組実績
収支実績	令和3年度の収支実績
	管理費縮減への取組実績
利用者満足度向上への取組実績	入居団体への取組実績
	一般利用者への取組実績・受付ボランティアに対する指導等
	アンケート調査に対する取組状況
会館施設・設備の適正管理への取組実績	修繕の状況
	県工事への協力・安全管理
危機管理業務の実績	事故防止への取組・危機管理上の規定の整備
	災害ボランティア本部の訓練・自衛消防隊の訓練
事業計画に対する実施状況	自主事業など計画内容の取組実績

(2)評価基準

評価委員会及び県による評価は、評価事項ごとに5段階で行った。

内容	たいへん 評価できる	概ね 評価できる	可も不可 もない	あまり評価 できない	まったく評価 できない
評価点	5	4	3	2	1

8 評価結果

評価委員会委員による評価点は4.1点であり、「概ね評価できる」との評価となった。

評価項目	評価事項	評価点	主な理由・意見
有料会議室 の利用状況	会議室利用実績	4.0	コロナ禍の中で利用実績が向上している点は評価できる。 新規利用者の獲得が課題である。 PRとして外部への広報を積極的に行ってほしい。
	会議室利用向上への 取組実績	3.8	インターネット環境の改善に加えて、オンライン会議の対応(貸出用モニターの導入)が評価できる。 会議室の予約方法などが改善されると、利用率が向上するのではないかと思う。
収支実績	令和3年度の収支実績	4.5	前年度より支出が減少したことは評価できる。
	管理費縮減への取組 実績	3.8	設備機器等の省エネ化を一層進めてほしい。照明設備は対外的に視覚効果が見えるところの整備を願いたい。
利用者満足 度向上への取 組実績	入居団体への取組実績	4.0	連絡会・研修会の開催は評価できるが、救命講習実施のための工夫はできなかったか。
	一般利用者への取組 実績・受付ボランティア に対する指導等	3.8	受付ボランティア確保について工夫(謝礼や募集の方法を検討するなど)が必要と思われる。
	アンケート調査に対す る取組状況	4.2	対応できるところから速やかに対応している。 アンケートの結果とフィードバックについてもう少し工夫が必要かと思う。
会館施設・設備 の適正管理へ の取組実績	修繕の状況	4.7	環境整備、利便性向上のため必要な修繕を計画的に実施している。
	県工事への協力・安 全管理	4.5	利用者増に向けて、県に必要な修繕・改修工事の要求は継続してほしい。
危機管理業 務の実績	事故防止への取組・ 危機管理上の規定の 整備	3.8	安全確保のために、必要な対策を実施している。 研修、講習、訓練内容、規程の見直しを、定期的に行ってほしい。 障害者、高齢者等団体に適切にチェックしてもらえる体制づくりをしてほしい。
	災害ボランティア本部 の訓練・自衛消防隊 の訓練	3.8	障害者避難の訓練は、毎年実施すべきである。 災害発生時の会館利用を想定した訓練、マニュアルなどの整備も今後考慮すべき。
事業計画に対 する実施状況	自主事業など計画内 容の取組実績	4.2	より充実した取組を願いたい。
全体の評価(平均点)		4.1	

【改善に向けた自由意見等】

- ・会議室の利用を向上させるためには、新規利用者を増やすための周知の工夫が必要と思われる。
- ・老朽化する建物で大変と思いますが、よく改善に取り組んでいると思う。
- ・地理的条件の良い場所であり、広く利用できると思う。
- ・会館内の団体や利用者が一緒になって目指す目標設定などを考えて盛り上げてほしい。
- ・館内に障害者アートの常設展示などを行う。

【各委員と指定管理者との質疑応答要旨】

質疑等(委員)	回答(指定管理者)
会議室の予約について、ホームページから直接できるように進めていただきたいと思います。	他施設の例を参考にしながら、検討を始めたところです。
道路から見ても、福祉会館という案内等がなく、どのような施設か分からないので、認知度が上がらないのだと思います。	工夫する余地があると思います。 他県の取組も参考にしたいと思います。
受付ボランティアについて、現状 24 名で人数が足りてないようですが、何人必要なのか見通しはいかがですか。	平日の 5 日間をボランティアだけで対応いただくには、40 名が必要になります。
ボランティアの募集方法として、館内掲示やホームページだけでなく、新規の方の目に触れさせる工夫をお願いします。	静岡市社会福祉協議会の広報誌に、ボランティア募集の掲載をしており、反響をもらっています。
アンケート結果のフィードバックは行っていますか。アンケートで要望に対して、こういう対応したという情報発信もあると、利用者はもう少し関心を持つと思います。	アンケート集計結果を館内に掲示しました。 また、アンケートの記入は無記名のため、個別に回答はしておりませんが、本会の考え方を集計結果と合わせて掲示しました。
いこいの広場の北側中央にあるスロープは、歩行者が通れて車いすの方が通れないというのは、合理的配慮がなされていないのではないのでしょうか。	スロープの下は駐車場であり、強度等スロープを改修する場合の課題があることから、県の担当部局に相談してみます。
ボランティアの方に対して、実際に起こったヒヤリハットの情報共有や、研修で報告するような取組を行っていますか。	ヒヤリハット専用ではありませんが、ボランティアの方は活動日誌をつけており、皆で情報共有をしています。 ボランティア講習の内容に含めるようにします。